

輸出額・輸入額ともに2年連続で増加 ～ 平成23年 福岡市の外国貿易 ～

今月号の特集は、平成23年外国貿易年表が門司税関から公表されましたので、博多港（博多税関支署）と福岡空港（福岡空港税関支署）における貿易の概要について紹介します。【注】

1. 概況

輸出額・輸入額ともに2年連続で増加

平成23年の両港における輸出額は2兆527億円で、前年と比べて111億円増（対前年増加率0.5%）となり、2年続けて増加しました。

港別に見ると、福岡空港は5,691億円で前年より378億円減（同△6.2%）となりましたが、博多港は1兆4,836億円で489億円増（同3.4%）となっています。

また、両港における輸入額は、1兆1,343億円（同6.2%）で、輸出と同じく2年連続の増加となりました。

港別に見ると、福岡空港は3,035億円で451億円減（同△12.9%）、博多港は8,308億円で1,116億円増（同15.5%）となっており、輸出と同じく福岡空港は減少、博多港は増加しています。

なお、貿易収支は9,184億円の輸出超過となっています。（表1、図1）

2. 輸出

半導体等電子部品などの割合が高い

輸出品別に輸出額を見ると、機械類及び輸送用機器類が前年より3.3%増の1兆2,343億円（構成比60.1%）で最も多くなっており、その中でも輸出額3,680億円（同17.9%）の半導体等電子部品や、2,679億円（同13.1%）の自動車が大きな割合を占めています。

港別に見ると、博多港では、輸出額2,679億円（構成比18.1%）の自動車、

図1 貿易額の推移

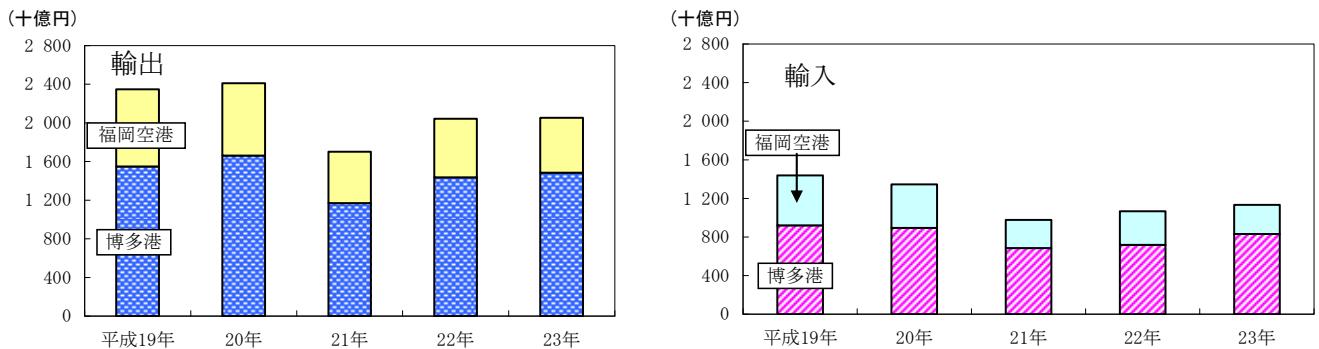


表1 貿易額の推移

（単位：百万円，%）

年	両税関支署計				博多港（博多税関支署）				福岡空港（福岡空港税関支署）			
	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率
平成19年	2 347 763	24.4	1 438 995	5.6	1 548 568	36.9	919 269	11.7	799 195	5.8	519 726	△ 3.6
20年	2 411 680	2.7	1 346 074	△ 6.5	1 660 071	7.2	895 048	△ 2.6	751 609	△ 6.0	451 026	△ 13.2
21年	1 702 149	△ 29.4	977 679	△ 27.4	1 169 495	△ 29.6	684 772	△ 23.5	532 654	△ 29.1	292 907	△ 35.1
22年	2 041 598	19.9	1 067 776	9.2	1 434 674	22.7	719 154	5.0	606 924	13.9	348 622	19.0
23年	2 052 666	0.5	1 134 298	6.2	1 483 571	3.4	830 794	15.5	569 095	△ 6.2	303 504	△ 12.9

【注】 文中、表中及び図中の「博多港」とは博多税関支署において、「福岡空港」とは福岡空港税関支署において、それぞれ通関手続きが行われた輸出申告書及び輸入申告書に基づいた数値を表しています。なお、通関手続きが行われた税関と積出港とは必ずしも一致しません。

1,965億円（同13.2%）のゴムタイヤ及びチューブ、1,613億円（同10.9%）の半導体等電子部品などが大きな割合を占めています。なお、自動車は福岡空港からの輸出はなく、全額が博多港からとなっています。

福岡空港では、多くの品目で前年より減少する中、輸出額が1.1%増の2,067億円（構成比36.3%）となった半導体等電子部品、1.3%増の752億円（同13.2%）となった金（マネタリーゴールドを除く）などが大きな割合を占めています。なお、金（マネタリーゴールドを除く）と輸出

額462億円（同8.1%）の再輸出品を合わせた特殊取扱品が、全体の2割を占めています。（表2・3、図2）

3. 輸入

機械類及び輸送用機器類などの割合が高い

輸入品別に輸入額を見ると、機械類及び輸送用機器類が前年より0.1%増の4,090億円（構成比36.1%）で最も多く、次いで食料品及び動物が2,243億円（同19.8%）、雑製品が1,510億円（同13.3%）となっています。

港別に見ると、博多港では、輸入額が

表2 輸出品別輸出額

（単位：百万円，%）

品名	両税関支署計			
	平成23年			平成22年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	2 052 666	100.0	0.5	2 041 598
食料品及び動物	20 712	1.0	5.5	19 633
飲料及びたばこ	1 603	0.1	135.4	681
食料に適さない原材料	23 288	1.1	7.0	21 763
鉱物性燃料	90	0.0	32.9	68
動植物性油脂	55	0.0	△ 35.1	85
化学製品	218 144	10.6	0.5	217 155
原料別製品	268 711	13.1	11.4	241 221
うちゴムタイヤ及びチューブ	196 586	9.6	13.4	173 308
機械類及び輸送用機器類	1 234 279	60.1	3.3	1 195 098
うち半導体等電子部品	368 008	17.9	5.6	348 559
うち自動車	267 902	13.1	△ 6.7	287 027
雑製品	101 338	4.9	△ 15.6	120 011
特殊取扱品	184 444	9.0	△ 18.3	225 882
うち再輸出品	103 755	5.1	△ 28.2	144 476
うち金（マネタリーゴールドを除く）	80 689	3.9	△ 0.9	81 407

図2 輸出品目別構成比（両税関支署計）

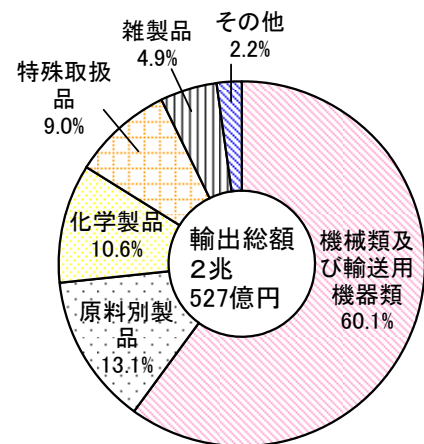


表3 輸出品別輸出額（税関支署別）

（単位：百万円，%）

品名	博多港（博多税関支署）				福岡空港（福岡空港税関支署）			
	平成23年			平成22年	平成23年			平成22年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	1 483 571	100.0	3.4	1 434 674	569 095	100.0	△ 6.2	606 924
食料品及び動物	15 357	1.0	10.5	13 896	5 355	0.9	△ 6.6	5 736
飲料及びたばこ	1 537	0.1	154.0	605	66	0.0	△ 13.6	76
食料に適さない原材料	22 646	1.5	7.2	21 130	642	0.1	1.3	633
鉱物性燃料	66	0.0	51.8	44	24	0.0	△ 0.9	24
動植物性油脂	41	0.0	△ 41.7	71	14	0.0	△ 4.1	15
化学製品	154 242	10.4	5.8	145 808	63 903	11.2	△ 10.4	71 346
原料別製品	256 596	17.3	14.5	224 122	12 115	2.1	△ 29.1	17 099
うちゴムタイヤ及びチューブ	196 525	13.2	13.5	173 088	60	0.0	△ 72.6	220
機械類及び輸送用機器類	894 792	60.3	5.7	846 514	339 487	59.7	△ 2.6	348 585
うち半導体等電子部品	161 302	10.9	12.0	144 006	206 706	36.3	1.1	204 552
うち自動車	267 902	18.1	△ 6.7	287 025	—	—	全減	2
雑製品	75 264	5.1	△ 19.3	93 243	26 074	4.6	△ 2.6	26 768
特殊取扱品	63 029	4.2	△ 29.4	89 241	121 415	21.3	△ 11.1	136 641
うち再輸出品	57 576	3.9	△ 29.9	82 105	46 179	8.1	△ 26.0	62 371
うち金（マネタリーゴールドを除く）	5 452	0.4	△ 23.6	7 137	75 237	13.2	1.3	74 270

5.0%増の596億円（構成比7.2%）となった魚介類（生鮮・冷凍）、12.9%増の372億円（同4.5%）となった家具などが大きな割合を占めています。

福岡空港では、輸入額1,160億円（構成比38.2%）の半導体等電子部品が約4割を占めています。その他、輸入額250億円（同8.3%）の再輸入品、178億円（同5.9%）の科学光学機器などの割合が高く

なっています。（表4・5、図3）

4. 貿易の相手国

中国が輸出入共に約3割を占める

相手国別に輸出入額を見ると、輸出では中国が5,737億円（構成比27.9%）で最も多く、約3割を占めています。次いで3,596億円（同17.5%）の韓国、1,920億円（同9.4%）のアメリカ、1,483億円

表4 輸入品別輸入額

（単位：百万円，%）

品名	両税関支署計			
	平成23年			平成22年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	1 134 298	100.0	6.2	1 067 776
食料品及び動物	224 261	19.8	11.1	201 940
うち魚介類（生鮮・冷凍）	70 067	6.2	1.3	69 184
飲料及びたばこ	4 203	0.4	24.0	3 388
食料に適さない原材料	87 964	7.8	36.6	64 415
鉱物性燃料	24 976	2.2	26.9	19 680
動植物性油脂	1 175	0.1	31.6	893
化学製品	74 157	6.5	22.0	60 778
原料別製品	119 153	10.5	18.4	100 641
機械類及び輸送用機器類	408 972	36.1	0.1	408 537
うち事務用機器	37 327	3.3	△ 11.4	42 140
うち半導体等電子部品	124 540	11.0	△ 13.0	143 117
雑製品	150 983	13.3	△ 2.5	154 915
うち家具	37 641	3.3	12.5	33 459
うち科学光学機器	26 385	2.3	△ 29.5	37 437
特殊取扱品	38 455	3.4	△ 26.9	52 589
うち再輸入品	32 270	2.8	△ 30.8	46 652

図3 輸入品目別構成比（両税関支署計）

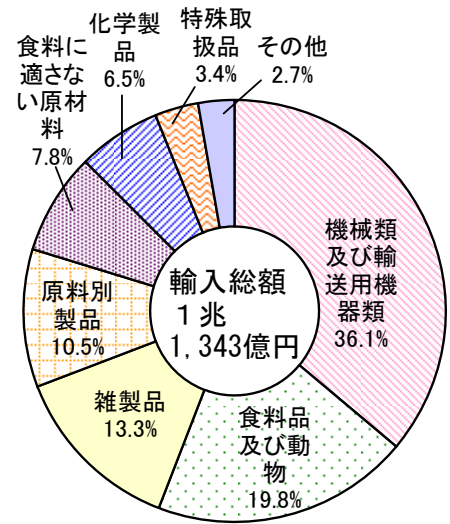


表5 輸入品別輸入額（税関支署別）

（単位：百万円，%）

品名	博多港（博多税関支署）				福岡空港（福岡空港税関支署）			
	平成23年			平成22年	平成23年			平成22年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	830 794	100.0	15.5	719 154	303 504	100.0	△ 12.9	348 622
食料品及び動物	212 789	25.6	13.0	188 352	11 472	3.8	△ 15.6	13 588
うち魚介類（生鮮・冷凍）	59 626	7.2	5.0	56 799	10 441	3.4	△ 15.7	12 386
飲料及びたばこ	4 128	0.5	24.4	3 319	75	0.0	8.8	69
食料に適さない原材料	82 763	10.0	39.0	59 538	5 201	1.7	6.6	4 877
鉱物性燃料	24 963	3.0	27.0	19 664	13	0.0	△ 19.4	16
動植物性油脂	1 159	0.1	29.9	892	15	0.0	3,364.6	0
化学製品	65 281	7.9	27.8	51 099	8 876	2.9	△ 8.3	9 679
原料別製品	105 151	12.7	18.3	88 922	14 001	4.6	19.5	11 718
機械類及び輸送用機器類	210 389	25.3	10.6	190 251	198 583	65.4	△ 9.0	218 286
うち事務用機器	34 117	4.1	△ 11.9	38 717	3 210	1.1	△ 6.2	3 423
うち半導体等電子部品	8 496	1.0	△ 27.0	11 646	116 044	38.2	△ 11.7	131 471
雑製品	116 932	14.1	7.5	108 785	34 051	11.2	△ 26.2	46 131
うち家具	37 221	4.5	12.9	32 979	421	0.1	△ 12.2	479
うち科学光学機器	8 593	1.0	17.9	7 290	17 792	5.9	△ 41.0	30 146
特殊取扱品	7 237	0.9	△ 13.1	8 332	31 218	10.3	△ 29.5	44 257
うち再輸入品	7 227	0.9	△ 13.1	8 314	25 043	8.3	△ 34.7	38 338

(同 7.2%)の台湾, 1, 223 億円(同 6.0%)のシンガポールと続いています。

なお, 前年と比較すると, 中国が 8.3%減, 台湾が 7.0%減となったのに対し, 韓国が 9.2%増, アメリカは 11.1%増となっています。

輸入額は, 輸出同様に中国が 3, 657 億円(構成比 32.2%)で最も多く, こちらも約 3 割を占めています。次いで 1, 251 億円(同 11.0%)の韓国, 1, 065 億円(同 9.4%)のアメリカ, 886 億円(同 7.8%)の台湾, 778 億円(同 6.9%)のタイと続

きます。

前年と比較すると, 韓国が 7.5%減, 台湾が 6.4%減となったのに対し, 中国が 7.3%増, アメリカは 8.7%増となっています。

なお, 中国から台湾までの上位 4 か国は, 輸出入共に同じ順位となっています。

(表 6・7, 図 4)

【資料提供】

門司税関

<http://www.customs.go.jp/moji/>

図 4 主要相手国の貿易額の推移 (両税関支署計)

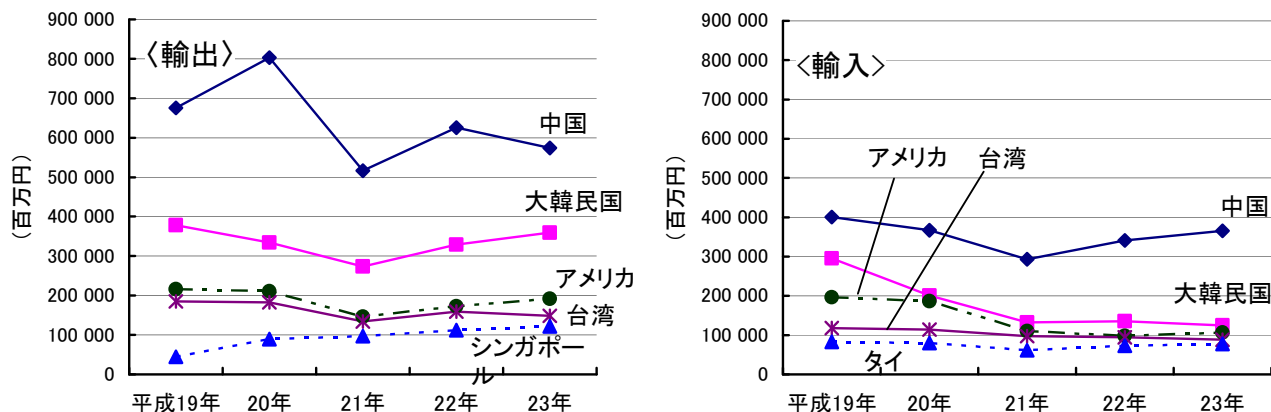


表 6 輸出国別輸出額の推移 (両税関支署計)

(単位: 百万円, %)

国・地域	平成23年	構成比	対前年増加率	22年	21年	20年	19年
総額	2 052 666	100.0	0.5	2 041 598	1 702 149	2 411 680	2 347 764
中華人民共和国	573 696	27.9	△ 8.3	625 328	516 088	802 891	675 931
大韓民国	359 632	17.5	9.2	329 352	274 027	334 560	378 511
アメリカ合衆国	191 981	9.4	11.1	172 797	146 709	211 118	216 014
台湾	148 312	7.2	△ 7.0	159 433	134 080	182 605	184 928
シンガポール	122 265	6.0	9.0	112 148	96 723	89 787	44 993
その他	656 780	32.0	2.2	642 539	534 522	790 719	847 386

表 7 輸入国別輸入額の推移 (両税関支署計)

(単位: 百万円, %)

国・地域	平成23年	構成比	対前年増加率	22年	21年	20年	19年
総額	1 134 298	100.0	6.2	1 067 776	977 679	1 346 074	1 438 995
中華人民共和国	365 709	32.2	7.3	340 836	293 217	366 784	400 267
大韓民国	125 090	11.0	△ 7.5	135 173	132 616	201 379	295 222
アメリカ合衆国	106 512	9.4	8.7	98 009	110 130	186 602	196 561
台湾	88 612	7.8	△ 6.4	94 709	97 249	113 870	118 309
タイ	77 817	6.9	6.4	73 154	61 763	79 784	83 242
その他	370 558	32.7	13.7	325 894	282 703	397 655	345 395